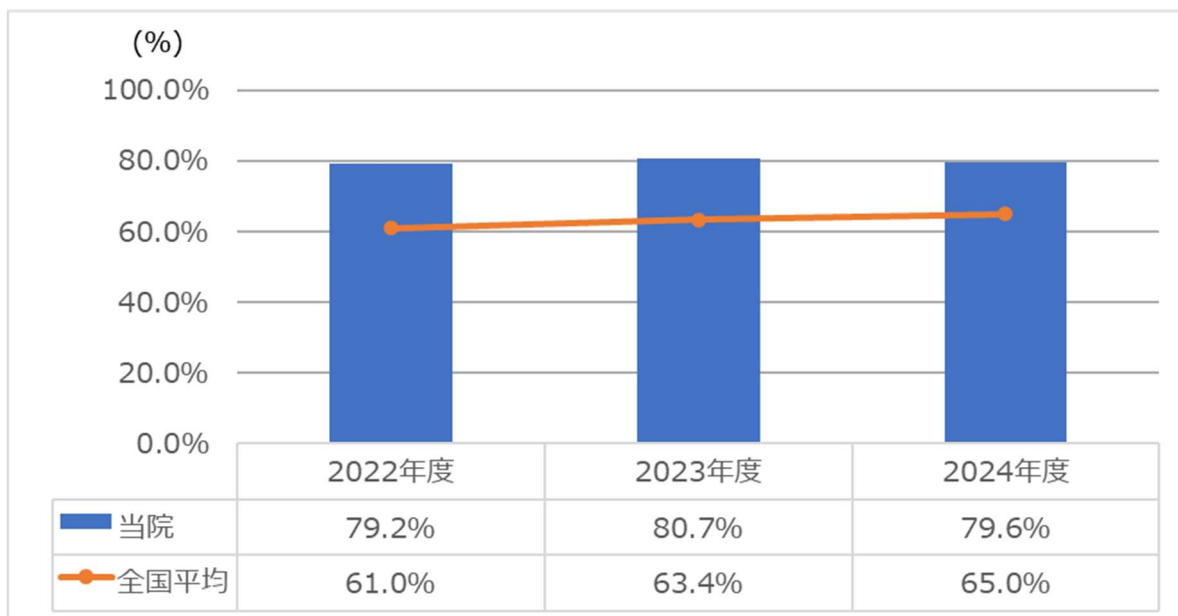


指標6 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合



<定義>

| | | |
|----|---|-----------------------|
| 分子 | ： | 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数 |
| 分母 | ： | 急性または慢性心不全で入院した症例数 |
| 期間 | ： | 2022年度～2024年度(1年毎に集計) |
| 対象 | ： | 上記期間の退院患者 |

<解説>

運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは急性または慢性心不全の二次予防に有効です。生命予後の改善効果も認められています。当院での心臓リハビリテーションの施行率は79.6%と全国平均の65.0%と比較して高い施行率を達成しています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果(事業に参加する全国の病院の平均値)を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>(当院の QIP 参加について)

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html> (QIP における計測結果)